



2024
No.50
令和6年
2月1日発行

議会だより

住みやすい町づくりを目指して <https://www.town.manno.lg.jp/chosei/gikai/>



まんのう町へ幸せを運ぶコウノトリ

— 撮影地 まんのう町長尾地区 —

Contents

令和6年

まんのう町議会議員 新年の決意	2
第2回臨時会・12月定例会	4
いっぺん来てつか 議会報告会	8
委員会報告	10
9人が町の考えを問う 一般質問	15
議会からこんにちは スポーツ少年団の紹介 ...	20



2月バージョン
まんテンちゃん

のう町議会議員 の決意

山のむこうの
山を見よ



川原 茂行

流水不腐

(流れる水は腐らず)



まんのう町議会議長

白川 正樹

抱負

今年も住民の皆様にとって住みよい町になるよう取り組んでまいります。

好きな言葉

天網恢恢疎にして漏らさず

信条

サイレント・マジョリティー(物言わぬ多数派)を大事にする。

一期一会
出会いを大切にし
常に一意専心で
頑張つてまいります



松下 一美

最善を尽くす



白川 皆男

終始一貫

日々飛躍



合田 正夫

精励恪勤

今年も誠実に朗らかに
一生懸命つとめます



川西 米希子

平和共存

今年も誠心誠意
頑張ります



京兼 愛子

一期一会

出会いを大切に
感謝の気持ち忘れず



常包 恵

揺るがない信念

周りに左右されず決して
変わらない自分の考えや
思いを持つ



鈴木 崇容

令和6年まん 新年



笑う門には福来る



まんのう町議会副議長

三好 郁雄

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

お互いが強い絆で明るい町を作り、住民の皆様にとって心豊かで幸せあふれる良い年になりますようご祈念申し上げます。



町民の皆さまの
声に耳を傾け
住みよいまんのう町
のために頑張ります

大西 豊



気骨精進
初心に立ち返って
取り組んでまいります

大西 樹



住民本位
地域で共に生きる
安心な町づくり

竹林 昌秀



善負己由
ぜんばいおのれによろ
自分に起こることは、
全て自分の日頃からの
思考と言行の現れ

石崎 保彦



歩歩是道場
ほほこれどうじょう
いつでもどこでも
修行の気持ちで

真鍋 泰二郎



●令和5年

第2回臨時会

開催期間 12月1日

【即決案件】

【議案第1号】

町職員の給与に関する条例の一部改正

令和5年度香川県人事委員会勧告に基づき、給料及び期末・勤勉手当の引き上げ改正を行った。

【議案第2号】

町特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正

人事院勧告の趣旨等を踏まえ、特別職の期末手当率の引き上げ改正を行った。

【議案第3号】

町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

人事院勧告の趣旨等を踏ま

え、議員の期末手当率の引き上げ改正を行った。

【議案第4号】

町一般職の任期付き職員の採用等に関する条例の一部改正

一般職の給料表改訂との権衡等を考慮し、給料表の改正を行った。

●令和5年

12月定例会

開催期間 12月11日～12月22日
(12日間)

【即決案件】

【議案第9号】

香川県市町総合事務組合規約の一部変更

香川県市町総合事務組合の規約の変更に係る関係地方公共団体の協議が必要になったので、地方自治法第290条の規定に基づき変更した。

【付託案件】

教育民生常任委員会

【議案第4号】

工事請負変更契約の締結
令和5年度四条公民館増築工事(建築)

〈変更増の契約金額〉

金2481万6千円

〈既 契約金額〉

金2億9040万円

〈既 本契約日〉

令和5年6月13日

〈契約の相手方〉

まんのう町七箇

まんのう経常建設共同企業体

代表者 株式会社七箇工業

代表取締役 山下 美博



四条公民館完成図

●主な質疑と答弁

安全対策

【委員】完成後にキュービクルの目隠しフェンスは設置するのか。

【執行部】内部が見えないフェンスを設置し、施錠もする。

【議案第5号】

町特別養護老人ホームやすらぎ荘の指定管理者指定

【議案第6号】

町琴南高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定

【議案第7号】

町琴南高齢者ふれあいランドの指定管理者の指定

議案第5号、第6号、第7号一括で社会福祉法人 正友会を指定管理者に指定

社会福祉法人 正友会を指定管理者とする3施設について、指定管理の期間が今年度をもって終了することから、令和6年4月1日から令和11年3月31日までの5か年間、指定管理者に指定した。

●主な質疑と答弁

介護の人員確保と負担軽減

【委員】介護従事者の人員確保の現状、および見通しについてはどうか。

【執行部】介護従事者の確保は全国的な問題である。社会福祉法人 正友会は介護従事者の年齢層が高くなっており、人員の確保に苦労しているが、運営に支障は出ていない。今後も人員確保はできるものと見通している。

【委員】町職員が施設を訪問し運営状況の確認や協議を行い、町として支援する必要があるのではないか。

【執行部】現在は事務職員が訪問し、運営状況の確認や協議を行っているが、専門職の訪問なども視野に入れて検討したい。

【委員】介護職員の負担軽減のために、ロボットスーツなどの活用を行っているかどうか。

【執行部】購入について指定管理者と協議をし、介護従事者の負担軽減を図りたい。

可決案

【議案第11号】

令和5年度町国民健康保険特別会計補正予算(案)(第1号)

利用実績の見込みによる一般被保険者高額療養費負担金の増額と令和4年度に交付された交付金等を実績に基づき返還するための諸支出金の増額により、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3095万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ22億7225万8千円とした。

【議案第12号】

令和5年度町後期高齢者医療特別会計補正予算(案)(第1号)

利用実績の見込みによる後期高齢者医療連合負担金の増額により歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ697万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3億4207万6千円とし、財源は繰越金を充てることとした。

可決案

可決案

【議案第13号】

令和5年度町介護保険特別会計補正予算(案)(第1号)

インボイス制度による財源の組み換えや、利用実績の見込みによる国保連合会への負担金の増額と、令和4年度の介護給付、地域支援事業に交付された交付金等を実績に基づき、返還するための諸支出金の増額のため、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6384万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ27億9854万7千円とした。

可決案

建設経済常任委員会

【議案第8号】

町道路線の認定

町道北原線支線(吉野下大宮)延長137mを町道認定した。

可決案

【議案第14号】

令和5年度町下水道特別会計補正予算(案)(第1号)

歳入歳出それぞれに15万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億915万円とした。また、町公共下水道マンホールポンプ維持管理業務を次年度に業務委託するために、令和6年度に110万円の限度額、債務負担行為を定めた。

可決案

【議案第15号】

令和5年度町農業集落排水特別会計補正予算(案)(第1号)

長炭中部クリーンセンター汚水処理施設維持管理業務において令和6年度に250万円の限度額、債務負担行為を定めた。

可決案

総務常任委員会

【議案第1号】

町個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正

個人番号を利用した事務については法律に定められた事務のほか、就学援助費支給など一部の独自利用事務を条例で定めているが、多様化・複雑化する業務や教育部局の利用に対応するため、条例の一部を改正した。

●主な質疑と答弁

独自利用事務

【委員】子どもの医療費助成に関する事務や就学援助に関する事務などの独自利用事務の事例は各自治体で違うのか。違う場合は転入出時に混乱が生じるのでは。

【執行部】情報連携の対象となる独自利用事務の中から、各自治体で必要な事務を条例で定めているが、通常は国の事務事例に基づき定めることとなっている。

可決案

【議案第2号】

町税条例の一部改正

令和6年度からの個人町民税均等割の枠組みを用いた森林環境税（1人年額10000円）導入に伴う既定の整備、自動車メーカーによる燃料・排ガス不正行為に係る税制上の再発防止策強化等を行うため、条例の一部を改正した。

●主な質疑と答弁

森林環境税と税

【委員】納付された森林環境税は、森林環境税として町に配分されるが、その譲与基準割合は。

【執行部】現段階では、私有林人工林面積50%、林業就業者数20%、人口30%の割合となっているが、今後、変更となる見込みである。



まんのう町の7割が森林

燃料・排ガス不正行為

【委員】不正が発覚した場合の追加納税等の徴収方法は。

【執行部】不正により生じた不足額と加算額35%を合わせて自動車メーカーから徴収する。

税負担額

【委員】森林環境税の導入により税負担額はどうか変わるのか。

【執行部】令和6年度から森林環境税が導入されるが、これまで東日本大震災復興基本法に基づき、個人住民税均等割に増額されていた年額10000円が、令和5年度で終了となるため、結果的に個人の税負担額に変動はない。

可決案

【議案第3号】

町国民健康保険税条例の一部改正

子育て世帯の負担軽減、次世代育成支援の観点から、国保制度において、出産する被保険者の産前産後に係る所得割額及び均等割額を減額するための規定

の整備を行うため、条例の一部を改正した。

可決案

【議案第10号】

町一般会計補正予算(案)(第4号)

事前に、教育民生常任委員会、建設経済常任委員会において、それぞれの所管部分を審査し、総務常任委員会に報告があった。非課税世帯等への生活支援特別給付金事業、給食賄い材料費の増額、コウノトリの巢の保存工事などを行うため、歳入歳出それぞれ2億7624万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ124億3646万円とした。

●主な質疑と答弁

《教育民生委員会関係》

学校給食費

【委員】学校給食費の現状は。

【執行部】昨年は物価高騰により、こども園から中学校までの1食あたりの平均材料費が320円

程度であったが、物価高騰分は町費で補填した。今年もさらに価格が上昇し、試算では全体で9%ほど上昇すると推測する。



楽しみな学校給食

非課税世帯への支援金事業

【委員】 支援金事業に係るシステム改修費と支給までのスケジュールは。

【執行部】 システム改修費は70万円となる。12月末ごろに支給通知を発送し、1月下旬には支給ができるように進める。

し尿処理事業管理システム

【委員】 当初予算のリース料と今回の補正予算との関連性は。

【執行部】 当初導入を予定していたシステムは購入価格が高額のため、システムをリースすることで当初予算にリース料を計上していたが、その後の調査で購入価格が安く、現状のシステムと操作方法等に差異が少ない別のシステムを購入することで、総合的にコスト縮減を図るため、委託料の増額である。

《建設経済委員会関係》

わくわく地方生活実現政策

パッケージ補助金

【委員】 事業の詳細と現在の申請状況は。

【執行部】 本町へ定住する方への補助金で、東京圏で通算10年のうち5年間は、就労または定住歴が必要などの対象要件がある。申請時には多くのチェック項目があり、全ての要件を満たした方に転入経費を100万円補助する事業である。本年度は2件の相談がきている。

ふるさと納税返礼品

【委員】 人気返礼品はなにか。また、これまでに納税者とのトラブルはあるのか。

【執行部】 多くの方がうどんを選択しており、その他では野菜が多い。まれに不良商品などの苦情を受けるが、返礼品取扱業者が対応している。

コウノトリの巣

【委員】 今後、巣が増えた場合も保存工事を実施するのか。

【執行部】 専門家から半径2km以内がつかいの縄張りで、現在の巣の周辺に新たな巣はしないだろうと聞いている。しかし、長炭地区の亀越池周辺に多くのコウノトリが飛来していることから、安全面や電力の安定供給の観点から、電柱に巣すること避けるためにも人工巣塔を設置できるように県などと協議をする。

大川山キャンプ場

【委員】 現在の利用者数の傾向は。

【執行部】 コロナ禍では、他のレジャー施設などが休園していたことなどが影響したのか例年に比べて利用者が多かったが、現在は例年通りの利用者数となっている。

《総務委員会関係》

防犯灯

【委員】 設置基準があると思うが、設置場所それぞれの事情を考慮した設置を求める。

【執行部】 設置基準を基本としつつ、交通事故数や通学路などを考慮して設置を検討する。

支援金の給付

【委員】 給付時期をもう少し早くできなかったのか。

【執行部】 国の施策決定時期が遅かったため、12月定例会での予算計上となった。

買い物支援車両

【委員】 買い物支援の車両に車両保険などの保険加入を義務付けてはどうか。

【執行部】 委託先（まんのう町商工会）と車両保険や特約などについて協議する。

ことでん踏切（四条地区）

【委員】 改良予定のことでん踏切工事の全体計画は。

【執行部】 町道路線となっている踏切の前後区間は4mの幅員があるが、踏切の区間は狭くなっていることから、拡幅改良工事を行うと共に、警報機付きの踏切の設置を計画している。



もっと身近な議会に！

いっぺん来てつか



11月15日(水)・16日(木)町内6会場におきまして、57名の住民の皆さまにご参加いただき、4年ぶりとなる議会報告会(意見交換会)を開催いたしました。

公園整備で人口対策

使っていない田んぼ等を活用して、子どもが安心して遊べる公園を整備してはどうか。それをアピールすれば人口も増えるのでは。

【議員】子育て支援の一つにはなと思いますが、町としては公園整備後の管理をどうするのかということが大きな課題となります。地元の意見として担当課にお伝えします。

【執行部】農地や宅地等の地目に応じて土地利用方法が定められています。また、公園整

備においては利用ニーズ把握や維持管理等のあり方も含めた検討が必要で、今後の公園整備の際の検討課題とさせていただきます。



ご参加いただきました住民の皆さまと子育て・防災・農林業・若者定住・自治会・町財政等について、活発な意見交換を行うことができました。議会報告会意見交換会の内容につきまして、一部ですがお伝えをいたします。皆様からいただきました貴重なご意見等は全議員で共有し、今後の議会活動にいかせていきたいと思っています。なお、ご要望につきましては、議会より執行部にお伝えさせていただきます。



満濃池周遊道

満濃池周遊道には

トイレが少ない。

【議員】トイレ設置の要望は議会からも出ています。車椅子の方も周遊できる整備やベンチなど必要だと思っています。

【執行部】1周約10kmの間に、かりん亭、神野寺、森林公園駐車場、森林公園散策道、五毛集会場と5か所のトイレがありますので、既存のトイレを活用いただけたらと思います。

す。また、ベンチは満濃池湖畔の区間に新たに設置いたしました。

満濃池周遊道の活発な利用のため、もっとPRをしてはどうか。

【議員】PRは必要だと思えます。担当課に伝えます。

【執行部】パンフレットやHPでの周知のほか、イベントの開催等を通じて引き続きPRに努めます。

*議会報告会(意見交換会)の内容につきましては、町ホームページからもご覧いただけます。各公民館には、冊子にてお届けさせていただいております。

物価高騰対策

物価高騰の支援を
継続してほしい。

【議員】町では、これまでも地方創生臨時交付金や財政調整基金を活用して支援を行いました。今後も住民生活を支援するよう議会としても声を上げていきたいと思っています。

【執行部】物価高騰対策については、来年度以降も事業規模の大小にかかわらず継続して行います。

ホームページ

まんのう町のホームページは見づらく、検索も難しい。利用者目線で刷新してほしい。

【議員】議員からも同様の声は伝えています。今日のご意見を改めて担当課に伝えます。

【執行部】公式ホームページについては更新や刷新を視野に入れ、検討を行います。



振興公社

振興公社には、高額な指定管理料を負担している上に、決算で赤字を防ぐために補助金を支払っている。しっかりとチェックできているのか。赤字を出しても町が補助してくれるという安易な経営になっていないのか。

【議員】今回の補助金は、燃料代等の諸物価高騰に対応したものです。税金を投入していますので、チェックはしっかりとします。振興公社の運営については住民の福祉施設と考えるのか、観光施設と考えるのか、その方向性と存続の意義は、町民のご意見をもとに判断しなければ

ならない時期にきていると思います。

【執行部】(有)仲南振興公社の役員会を四半期毎に開催し、運営等に対して協議をおこなっております。現在は、社会情勢が短期間にて変化をしており、変化に対応した運営をおこなっていくかなければならないと思っています。

草刈り対策

草が伸びるのが早くて、草刈りが追いつかない状況である。昔は各家で家の前の道の草刈りをしたり、有志で草刈りをしていたが、人口減少や高齢化でできなくなっている。

【議員】場所等の条件はありますが、町に防草シートの補助事業があり、自治会単位での申請もできます。造田・内田地区では、草の生え際にテープのような物を貼り、効果が

出ているそうです。

【執行部】防草シートの補助事業はあります。ただ、事業採択要件等もございますので詳しいお話をお聞きしてご回答させて頂きたいと思っていますので一度建設土地改良課へご相談頂きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

議会報告会にお越しくださいました住民の皆さま、本当にありがとうございました。

教育民生常任委員会 報告

介護保険料

広域圏で施設数やベッド数の調査を

【委員】 介護保険料は、市町単位で検討するのではなく、広域で調査を行った上で検討する必要があるのではないか。

【福祉保険課長】 介護保険について県全体で協議できる場がない。今後、県とも相談しながら検討したい。

公民館

人員配置は適正か

【委員】 各公民館の職員数は。

【生涯学習課長】 各公民館に館長1名と補助員1名を配置している。仲南公民館は、町民文化ホールと一体施設のため、ホール担当職員を含めて4名を配置している。

戦没者追悼式

平和の心を次世代に

【委員】 小中学生が追悼式に参加したり、戦争の体験談を聞く機会などを設けてはどうか。

【福祉保険課長】 追悼式における小中学生の参加については、教育委員会と協議し、検討したい。



琴南 満濃 仲南 3地区合同で開催

放課後児童クラブ 適正な指導と監督は できているか

【委員】 放課後児童クラブの業務を委託した時期と運営資格を有する業者数は。指導や監督はどのように実施しているか。

【学校教育課長】 放課後児童クラブは3年前から業者委託している。運営資格を有する業者数については調査していないが、本町には4社ほどから営業があった。業務委託時の指導項目や点検項目については、他の自治体の実施状況を参考にしたい。遵守する法令等については仕様書に記載している。

紙おむつの園内処理

町立・私立の区別なく

【委員】 いろは保育園においては紙おむつの園内の費用を補助金で対応するとの事だが、補助金率は必要経費全額補助となるか。

【学校教育課長】 申請分は、全額補助を考えている。



新型コロナウイルスワクチン

令和6年度はどうなるか

【委員】 国からの情報は。

【健康増進課長】 国からの情報では、年に1回秋ごろ高齢者のインフルエンザ予防接種と同様に実施したいとのこと。費用に関しては特に情報はないが、国の方針では自己負担が必要となる。

満濃池

名勝満濃池整備 基本計画

【委員】 計画に「来訪者の体験ストーリーを想定し、動線計画を設定する」等とあるが、満濃池周遊道を動線計画に組み込むことはできるのか。

【生涯学習課長】 周遊道は、危険な箇所があるため今回の計画で周遊道の整備を考えており、整備後は動線計画に組み込むことも検討している。



整備が待たれる満濃池周辺

建設経済常任委員会 報告

塩入温泉

施設老朽化をどうする

【委員】現在、休館中の塩入温泉の源泉の湧出量は充分にあるのか。

【地域振興課長】休館中も通常営業と同様に浴槽と循環設備の湯を入れ替えて源泉の湧出量の調査をしているが充分だとは言えない。

【委員】営業が再開した際には年代別の利用人数のデータを取り、巨額な予算を投入してまでの運営が必要かを考える時期がきている、仲南振興公社の経営を圧迫しているのが温泉であれば閉館を考えなければならない。

【地域振興課長】利用人数については、正確なデータが取れるかわからないが料金体系は分かれているのである程度は把握できる。塩入温泉は施設の老朽化が酷く、設備の改修に大きな費用が必要か調査し検討する時期がきている。

有害鳥獣

被害の減少か

【委員】イノシシの捕獲頭数が減少している要因は。

【農林課長】イノシシの個体数も減少している。今後、冬場に捕獲頭数が減った場合、豚熱も減少した要因の1つと推測する。

入札不調

今後の行方は

【委員】祓川公園トイレの当初の予定金額と設計変更後の金額の差は。

【建設土地改良課長】建築場所や工法を見直し、当初予定金額から半額程度に減額できた。

黄色コスモス

新たな花の事業

【委員】ひまわり推進事業で黄色のコスモスや菜の花の作付け場所はどこか。

【農林課長】黄色のコスモスは仲南地区の帆山に作付けしていたが、現在は開花時期は終わっている。菜の花も同じ場所に作付けしている。



営業再開が待たれる温泉



一面に広がる幸せの黄色

総務常任委員会 報告

12月6日、所管事務調査を行った。

現地調査

◆消防団第15分団（買田と生間を統合）屯所の整備状況を確認した。乾燥塔は、統合した生間から移設した。



消防団訓練

多様な設定で継続を

【委員】 満濃地区消防団招集訓練の内容は。

【総務課長】 春と秋の2回、午後7時のサイレンで団員が各分団屯所に集合して放

水訓練や地域内の見回りを行なっている。

【委員】 繰り返し訓練は必要だが、毎年同じ設定ではなく、時間、災害内容に変化を付けて行ってみてはどうか。

【総務課長】 消防団役員と協議し、工夫していきたい。



私たちの生命と財産を守る

選挙制度改革 選管での議論は

【委員】 期日前投票所、投票場所、投票時間などの要望書を総務委員会から議長へ、議長から町長へ提出した。選管での議論状況は。

【総務課長】 期日前投票所の増設については、4月の県議会議員選挙の際に琴南支所で開設予定であったが、無投票のため実施されなかった。現在は、期日前投票所の増設や投票所の統廃合など次回選挙時に取り組めるものについて選挙管理委員会での検討を進めている。

ハラスメント対応 相談体制は

【委員】 首長から職員へ、また職員同士でのハラスメント事案が多く報道されている。町の対応と相談体制は。

【総務課長】 総務課が相談窓口になっている。2年前に管理職対象で、研修も行った。毎年行っている人事異動希望アンケートに、ハラスメントにかかる記入欄を設けて事案の把握に努めている。

人事異動

課長定年者は別部署へ

【委員】 令和5年4月、課長定年退職者5名全員が同じ部署に配置された。組織の活性化、人材育成の観点から疑問だ。他市町、民間でも見られない人事であったと思う。

【副町長】 課の業務内容、課長の経験などから現職場に配置した。

振興公社

今年度の見通しは

【委員】 指定管理料を見直し（増額）して赤字減少でよいのか。今年度の経営見通しは。



営業再開で賑わう塩入温泉

【企画政策課長】 ことなみ振興公社は集客数が微増となっており、経営安定化補助金は必要ないと思う。仲

南は、温泉の長期休業もあり今年度も厳しい状況と推測する。

業務委託と人員

人員削減になっていない

【委員】 スクラップ&ビルドで説明責任を果たした業務委託を。そうすれば人員削減にならないといけない。

【総務課長】 放課後児童クラブの業務委託で、会計年度任用職員が約50名削減となっている。

地域公共交通計画

町民の意見集約は

【委員】 計画策定にあたり、公共交通の利用者の声を重視して進めてほしい。

【企画政策課長】 町民2千人にアンケート依頼し、848人から回答があった。また、あいあいタクシー利用者206人中117人から意見をいただき、事業者の方の聞き取りを実施中である。

生活困窮者支援法の運用・引きこもり対応

令和5年11月8日（水） 滋賀県野洲市



きめ細やかな支援制度について学ぶ

困っている人、困っていることに気づいていない人を見つけて、ともに解決を目指す野州市の積極的な取り組みは、本町のさらなる支援体制の充実の参考となりました。

野州市は、庁内で連携し「ワンストップで住民の相談を受け止める」ことを実践し、職員は「おせっかい」を合言葉に、市役所の総合力で相談者の発見と支援に取り組んでいます。複合的な課題を持つ住民は「総合相談窓口」である市民生活相談課があらゆる相談を受け止め、それぞれの支援制度の担当課や専門家に確実につなぐ対応をしています。

ICTを活用した学校教育

令和5年11月9日（木） 岐阜県郡上市



市をあげて取り組むICT教育

郡上市は海拔高低差の大きい高原が広がり、長良川など1級河川24本が流れる自然が豊かな岐阜県の中心にある市です。小学校20校、中学校8校で28校に学ぶ児童生徒数は2865人。平等な教育の為に全員にタブレット端末を配布し、授業の中では文房具として、授業外では、児童会・生徒会活動・家庭学習との接続等の多目に活用しています。

子ども達がこれからの社会の変化に対応するための資質、能力の育成にICTの活用は不可欠であり、本町においてもさらにICT教育に力を入れて取り組まなければならないと感じました。

ICT教育

※パソコンやタブレット端末、インターネットなどの情報通信技術を活用した教育手法

地域力こそ支え合いの要^{かなめ}

視察日：令和5年11月8日 場所：福井県吉田郡永平寺町



福井県永平寺町は人口約二万八千人、面積約94km²の町で、曹洞宗大本山の永平寺の門前町として有名ですが、高齢化率が高く、スーパーや病院もない地域があり、高齢者の移動手段が困難となっていました。そんな地域の課題を自分たちで解決しようということで、自家用有償旅客運送という法律の規制緩和を活用して始まった取り組みが、デマンド型地域交通「近助タクシー」です。

運転手は地元住民

我が町のデマンド型地域交通「あいあいタクシー」との大きな違いは、委託業者ではなく地元住民がドライバーをしている点です。地元住民がドライバーになることで利用者と共にアットホームな地域交通を目指しており、見守りの効果や新たな地域住民の交流の場としての効果もあり、現在では町内3地区で運行されています。

地域リーダーの育成

しかし、ドライバーの平均年齢が70歳前後であり、後継者の育成が課題となっています。「近助タクシー」の立ち上げ時には地域の声をまとめた調整したりするリーダーの存在が大きかったようですが、今後、地域の新たなリーダーとなる人材の育成こそが、この制度をはじめ地域力の醸成に必要な不可欠のこと。

我が町においても、地域の課題を自分事として行動できる人材育成が急務です。そして、地域の課題は地域の力で解決しようとする行動を全力でサポートするのが行政の役割であると思います。

自分たちで村を守る

視察日：令和5年11月9日 場所：岐阜県大野郡白川村

岐阜県白川村は白川郷で有名ですが、人口約千五百人、面積約356km²、平成の大合併をしない選択した村です。

みんな消防団に入る

人口の約8%が消防団員、団員の平均年齢が36歳という信じられない実態です。

村の経済は、大勢の国内外の観光客に支えられ、除雪作業含めて建設業も多く、団員の9割が村内で仕事をしているそうです。合掌造りの屋根の萱葺きを葺き替えるのに三百人もの住民が集って行うことができるように、「結（ゆい）」という強い結びつきが受け継がれており、若い人も「一度は消防団に入るもの」という意識が強くスムーズに新団員が確保できています。年1回の操法大会、大会に向けた練習等で、団員同士が共通の話題で一致団結でき、消防団の活動が日常生活の一部になっているそうです。

毎日4回の見廻り

合掌造り集落では、町内会毎に2人一組で拍子木を打ちながら毎日見廻りをしています。年1回は放水銃の操作・訓練も住民自ら行っています。

自分たちの経済の根幹でもある合掌造り、火に弱い合掌家屋

を守って強く強い意識を感じました。



類焼を防ぐ放水銃

太陽を味方につけたまち・北竜町夏的一大イベント 魅力いっぱいの特産品、観光の発信

視察日：令和5年7月31日～8月2日 場所：北海道雨竜郡北竜町



観光資源の説明

ひまわりまつりは、ひまわりの里で7月中旬から8月下旬まで行われ、観光客が全国から30万人以上も来る一大イベントで花火大会やひまわりグッズ販売、特産品のメロンやスイカ等の販売を行っています。小さな町でも、大きな成果を出している北竜町のすごさを学ばせて頂きました。まんのう町のひまわり事業にも課題となる事がたくさんありました。

北竜町は、人口16,622名（2023年7月1日現在）で農家戸数1,300戸と、まんのう町に比べて小さな町、北竜町にひまわりの歴史と観光業について視察交流に行きました。

地元農家の主な農作物は、そば、大豆、秋小麦だそうです。そんな中でも、地域の活性化を図るため農家の方々が北竜町でひまわりプロジェクトとし観光業とタイアップを行い、第4回全国ひまわりオイルサミットin北竜町や北のハイグレード食品「一番しほりひまわり油」、北竜町夏のひまわりまつり等のプロジェクトを展開されています。

議員が町の考えを問う

12月定例会では、9人の議員が一般質問を行いました。議員情報等は、まんのう町ホームページ（議会情報 <https://www.town.manno.lg.jp/chousei/gikai/>）に掲載していますので、ご覧ください。



上手な資金調達で
公共投資を続けよう

たけばやし まさひで
竹林 昌秀 議員が問う

公共インフラの整備効果

福祉厚生、
地域振興と経済循環を

答 フローとストックの効果

竹林 事業と整備効果を問う。

町長 短期は生産、雇用や消費が経済全体を拡充する。長期は安全安心、生活環境と生産性を向上させる。交通や通信が産業の成長を促進するが、資源や環境との均衡に配慮しなければならない。

竹林 利便をどう増進するのか。

町長 アクセス効果、バリアフリーと無駄の削減、情報共有と利用案内や快適性を上げる。

竹林 地域の活性化の意義はあるか。

町長 交流人口と関係人口を増やし、人の流れの創出となる。生産性が上がり、地域間格差の是正と企業立地を促す。

竹林 財政の資金調達機能と今後整備する一覧表提出を求める。

町長 地方交付税で後年度補填される地方債が有利だ。大型公共事業は、ほぼ整備し終えた。



国道32号の歩道改良

かわにし まきこ
川西 米希子 議員が問う

投票環境の向上

投票所でのコミュニケーションボード！ 投票支援カードの導入を



誰もが行きやすい
選挙に

答 次回の選挙から導入できるよう
検討したい

川西 投票所において、口頭で意思を伝えるのが難しい人向けに、コミュニケーションボードや投票支援カードの導入をしようか。

である。有権者が投票しやすい環境づくりは投票率の向上にもつながると思う。

コミュニケーションボードとは、係員とのあいだで想定されるやりとりをイラストや文章にして指差しで伝達をするもの。投票支援カードとは、事前に「代筆をしてほしい」「候補者名を読み上げてほしい」など、係員にお願いしたい内容にチェックを入れて、投票入場券（ハガキ）と一緒に手渡すスムーズに投票ができるもの

町長 過去の選挙で、「コミュニケーションボード」や「投票支援カード」が導入されていたら投票がスムーズにできたと思われる場面があった。選挙管理委員会と協議し、次回の選挙から導入できるよう検討したい。



すすき たかひろ
鈴木 崇容 議員が問う

防災

防災意識の 向上を図るには



答 今後小学校、公民館で講座を予定している

鈴木 防災意識と知識の能力を上げるには、一歩踏み込んだ防災の推進やその場所、地区で起こり得る災害、被害の防災出前講座の実施を今後もして頂けるのか。また、更に上を行くデジタル防災の推進、取組みをして頂けるのか。また令和5年6月定例議会で質問した、防災フェスティバル等を実施してもらえるのか。

支援対策

地方創生臨時交付金、
終了後の住民支援は

答 国県による
財源措置があれば、行う

町長 防災出前講座については、今後しっかりと取組んで行き、デジタル防災についても取り入れていく。防災フェスティバルの件は令和6年3月3日に町主催の防災フェスティバルの実施を行う予定である。



鈴木 コロナ対策支援（地方創生臨時交付金）終了後に、まんのう町がどのような支援対策をするのか、また物価高騰の中で住民に対して更なる支援対策を考えているのか。

町長 財政の硬直化が進んでいるまんのう町では独自での支援施策は困難であり今後、国や県による財源措置があった際には、住民の皆様の生活に寄与できる施策を行う。



ともに、育てる喜びを



きょうかね あいこ
京兼 愛子 議員が問う

女性の自立

女性の活躍こそ 少子化対策を促すのでは

答 両立支援に向け、
職場環境づくりを促進する

京兼 令和3年の一般質問後、男性の育休や女性管理職の登用などの進展は。

町長 前回の答弁では、男性職員の育休取得率は0%と報告したが、令和3年度から現在までの取得実績は50%であり、対象職員の約半数が取得している。また、女性の管理職登用率25%以上の目標を策定しており、令和3年が25・93%、令和4年が26・92%と少しずつではあるが増加傾向である。

京兼 子育てと仕事を両立できる職場づくりを今後、どの様に考えているのか。

町長 令和4年に地方公務員の育児休業等に関する法律が改正され、本町においても夫婦交替での育休や男性の育休取得、取得しやすい職場環境づくりの促進を図るなど、より一層の育休制度への理解及び意識改革を図っていく。

いしざき やすひこ
石崎 保彦 議員が問う

子育て世帯の転入増加に取り組む

「移住推進サポート室」の 設置を

答 貴重な沢山の提案を戴いた
担当と十分に検討し取り組む

石崎 当町の人口減少の実態と将来における減少推計を緩やかにすべく、行政と住民の力を合わせた取り組みが一日も早く試されねばならない。

当町は高松、坂出、丸亀、三豊、観音寺各市への通勤が可能であり、住宅地標準価格は県下17市町で一番安い。福祉行政施策も充実し、教育環境も良く豊かな自然に囲まれ、生活環境も良い。育児・教育に取り組む世帯の転入の呼び水策

として、家族ぐるみで当町での生活を体験できる施策を導入したいが、転入をサポートする部署の設置を望む。

町長 若者の当町への移住定住を促進する諸施策は効果を出している。当町3大観光資源を中心に町内に点在する観光資源の再構築を行い活用を進める。豊かな自然を活かした観光や体験型のグリーンツーリズム・エコツーリズムの推進にも注力する。中讃地域や近隣市町との広域連携による「滞在型・回遊型観光」の推進を図り、現状の観光の底上げに取り組む。空き家対策・移住・定住対策部門を中心に活動する「地域おこし協力隊員」を1名採用し業務のサポート推進を図る。

転入人口の増加を



みよし いくお
三好 郁雄 議員が問う

業務上のリスク管理

全額回収に どう取り組む

答 本人が署名している返済計画に基づき遅滞なく返してもう



住民の信頼を裏切ってはいけない

三好 令和元年に発覚した元職員による横領事件は、業務上のリスク回避ができていないために発生した。課長等の人事案件に関しては、議員と相談できる体制を考えたかどうか。

町長 各議員から意見を聞くことになれば、円滑な人事ができない状態になる恐れがあるため制度としては難しい。

三好 町長・元副町長においては、重い任命責任や監督責任があることから、それぞれに給与の減額処分が下されたが、当時の総務課長の責任についてはどのように考えているのか。

町長 当時の総務課長については、責任の範囲を問うため懲戒処分委員会が審査を行なったが、会計室長への監督責任はないとの結論に至り、顧問弁護士にも意見を聴取

したうえで懲戒処分は行わないことに決定した。

三好 損害賠償金額と返済計画は、**町長** 当初の損害賠償金額は、2902万2560円だったが、令和5年11月10日現在において149万330円が返済されている。

令和5年7月からは、毎月定額が返済される約束で給与・年金等で本人が74歳になる令和21年度には、全額返済する計画となっている。

三好 返済計画に基づいて、何としても全額返済をしてもらわなければならない。町職員の人事に関しては、業務上のリスク管理を踏まえ慎重かつ的確な対応を強く要望する。

町長 町としても、本人署名による損害賠償金の返済計画書に基づき、損害賠償金全額を遅滞なく返してもらうことに努める。

おおにし ゆたか
大西 豊 議員が問う

公金横領事件

元会計室長の 公金横領の返還計画を どのように実行するのか

答 令和5年10月に今後15年間で全額返還する返済計画書に署名捺印誓約している



町民が納得する説明を

大西 第15回議会報告会において、住民の皆様のご意見から一般質問を行う。公金横領事件について「議会だより」の総務委員会等において、今年7月より定額返還そして不動産の売却があれば、その都度対応することにより、町長は全額返還が可能であると判断しているが、長期であり不測の事態は考えていないのか。

町長 この損害賠償金返済計画であれば、多少無理があっても、必ず全額返還が可能であると判断している。不測の事態発生時は、すぐに弁護士と協議し、残っている返還すべき金額についての回収方法等、法的観点から総合的に判断し対応していきたいと考えている。

大西 平成31年2月4日地元自治会からの訴えへの対応は適切だったのか。対応次第で被害の拡大を防げたのではないか。

町長 訴えに接し、当時の副町長と総務課長が地元のお金及び公金について本人に厳しく問いただし

まんのう町職員の懲戒処分等に関する基準

この訓令は、平成23年12月1日から施行する。(1-3と5と8は省略)

処分事由（条項の種類）	標準的な懲戒処分の量定
4 公金、公物の不正領得関係	不正取扱い 戒告、減給又は停職、懲罰的なものは、免職
	窃取、詐欺 免職
	横領 普通横領 免職又は停職
	一時借用 停職、減給又は戒告
6 私行関係	一般の信用失行行為 戒告
	特に著しい信用失行行為の場合 停職又は免職
7 監督責任関係	監督上の職務怠慢 戒告
	監督上の著しい職務怠慢 戒告

参考：人事院の指針には、公務以外でも窃盗・横領は免職又は停職とある

たが認めず、3月末依願退職まで否定し隠し続けていた。この時点で本人を懲戒処分委員会にかけ、平成31年3月6日懲戒処分を決定した段階でも公金横領については頑なに否定し続けていた。公金横領事件は通常取引のない基金から数十回に分けて引き出す手口で極めて悪質な犯罪行為であり、当時の副町長、総務課長に嘘をつき続けた巧妙な犯罪手口によって隠ぺい工作が図られた事は誠に遺憾であり改めて謝罪する。



まちの宝物を
さがせ



桜満開の温泉公園



亀越池のコウノトリ

常包 長炭地区の亀越池周辺に多くのコウノトリが飛来している。内田地区では県内で初めてヒナが誕生し巣立つことができた。今では町内各地に見られるようになったが、本町はコウノトリが飛来する自然豊かな地域であることが証明できた。主力産業である米に付加価値を付けることはできないか。コシヒカリ以外の新たな品種でブランド化を図ってはどうか。

町長 コウノトリが滞在できるほど極めて価値の高い農村原風景が守られた地域の証明であり、農産物の付加価値も高めることができるかと期待している。ヒマワリ、そば、かりんなどにプラスして新たにコウノトリの飛来地が加わったことで町の農村原風景を将来につなげる活動の一助になる。

答 付加価値を高めることができる

コウノトリを活用し
ブランド力向上を

山間部の価値を高める



仲南地区の
渇水を問う



仲南帆山地区 つきすずか収穫

川原 仲南地区に節水の協力依頼の放送が一カ月間流されたが、水源池に供給できる水量はある。告知放送の時期と内容は誰が決めているのか。住民の不安を煽ることに繋がっている。

町長 放送する時期と内容については水道企業団の申し出により行っている。水源池の管理は水道企業団が責任をもって行うべきだが、今後は水道企業団と連携して住民のために渇水対応を行ってきたい。

答 県広域水道企業団に責任があるが
町も一緒に対応したい

渇水時はどこに水道水を
確保する責任があるのか

水道の渇水対策の責任

かわはら しげゆき
川原 茂行 議員が問う

WCSはほ場整備をした
農地を優先すべき

WCS

答 耕畜連携を成功させ
県のモデル地区にしたい

川原 WCS用稲の刈取り機械の見通しはどうなっているのか。

町長 畜産クラスター協会が機械購入の補助申請を行っている。来年度に作付け面積60haを刈り取る場合は県外の業者にも協力してもらうことになる。



町内の
スポーツ少年団を
紹介します

議会からこんにちは No.41

満濃なぎなたスポーツ少年団 努力を惜しまぬ 凛とした少女たち



時に令和五年十二月十四日、小雨が降り寒風吹き荒ぶ中、稽古着姿に身を固め、なぎなた持ちたる少女たちが、一人また一人と、満濃農政センターへと集まってまいりました。これより申し上げるのは「満濃なぎなたスポーツ少年団」大活躍の一席でございます。

40年の歴史

満濃なぎなたスポーツ少年団は昭和58年3月に設立され、今年40年を迎える歴史ある団体です。現在は小学生15名、中学生11名、高校生9名が所属し、稽古に励んでいます。

ん、吉原涼子さん、芋坂麻依さん。いずれも国体や世界大会への出場経験のある一流の先生方です。

努力を惜しまない

代表の大岡久美さんは「なぎなたを通して礼儀作法や日本の伝統文化だけでなく、努力を惜しまない姿勢を学んでほしい。普段の生活では経験できないものがなぎなたにはある。多くのことを体験してほしい。」と熱く語ってくれました。

主将インタビュー

小学生の主将・中野莉乃さんは、剣道をしているお父さんと一緒に、家でも本格的な稽古をしているそうです。その成果により県大会で優勝することができました。また、主将としては人一倍大きな声を出すことを心掛けているとのこと。
中学生の主将・森愛純さんは、とにかく強くなりたという信念のもと、中学校からなぎなたを始めたそうです。そして努力が実を結び、今年は夏・秋と2度

の県大会優勝を成し遂げました。しかし、その優勝を喜ぶつつも「内容が悪かった。次はもっと内容の良い試合をしたい。」とのこと。

目標は「全国大会出場」

満濃なぎなたスポーツ少年団の40年の歴史の中で、全国の舞台へと進んだ選手は数知れず。その先輩たちの後ろ姿を追いかけて、子どもたちは惜しみない努力をしていました。今後、全国大会で活躍する選手が誕生することは疑う余地もなく、更なる活躍が期待されます。

さて、お話はここからさらに面白くなるところでございますが、なんとなんと！紙面がいつぱいっばい。「満濃なぎなたスポーツ少年団」大活躍の一席、これにて大団円でございます。

部員募集中
一緒になぎなたを始めませんか
連絡先：大岡久美
(電話73-3665)

あとかき

副委員長 石崎 保彦

この議会だよりをお届けできる頃には：咲き始めた梅の香りに季節の移り変わる気配を感じる頃と思います。

今年の干支(えと)は申辰(きのえたつ)ですね。この年は成功という芽が成長していき、その姿を整えていくという意味があるそうです。どうぞ皆様お一人お一人の夢や願いや目標が実現に向かう年でありますように心より願っております。

我々、編集委員一同も住民皆様の幸せと安心して暮らせる住みよいまんのう町の実現に力いっぱい取り組んで参ります。そしてこの議会だよりが一人でも多くの皆様にお読みいただけることを祈りながら、今後も編集に頑張つて参ります。どうぞ皆様のご意見ご感想をお気軽にお寄せ下さい。我々の一番大きな励みになります。

議会広報特別委員会

- 〈委員長〉三好 郁雄
- 〈副委員長〉石崎 保彦
- 〈委員〉川西 米希子
- 〈委員〉常包 恵
- 〈委員〉鈴木 崇容
- 〈委員〉真鍋 泰二郎